



日本共産党区議会議員

こんにちは
伊藤和彦です

自宅 足立区花畑6-20-1 電話3859-6952
足立区役所 電話3880-5111(内線4650~4654)
日本共産党区議団 直通3880-5770
<http://www5.family.ne.jp/~k-itou/index.html>

原発がすべて停止 次はゼロめざして!



子どもたちに最高のプレゼント

原発稼働停止はこどもの日(5日)、子どもたちに最高のプレゼントになりました。3・11大震

5月5日「こどもの日」に北海道電力の泊原発3号機(泊村)が定期検査で運転を停止して国内にある50基あるすべての原発がとまる画期的なことです。42年ぶりに原発の発電量がゼロとなり全国各地で多彩なデモ、集会が行われました。足立区では、3月に西新井さかえ公園で「3・11原発さようなら」と原発の撤退を求めて集会が開かれ700人余の区民が参加しパレードも行いました。こつした運動の力でこの日を迎えました。原発ゼロは区民の願いです。

区議会議員 伊藤和彦

「子どもたちに最高のプレゼント」
『事故は絶対に起こさ
れた福島原発事故は
災によって引き起こさ
れた福島原発事故は

えない』という「原発安全神話」の崩壊を決定的なものにしました。「政治のウソ」が明らかになるもとで多くの区民がこれまでの政治への見方を変え、政治の真実とは何か、新たな探求と行動が広がっています。

私は、住民とともに地域で放射線量を測定し区に除染を求める活動を行ってきました。

日本共産党立区議団は、「足立区は原発ゼロの立場にたつべき」と繰り返し迫ってきました。

しかし、区は「安全を確認して再稼働も選択肢のひとつ」と事実

足立区でも自然エネルギーを

上再稼働を容認してきました。

各自治体でも自然エネルギー化

「福島で田植えはできなくなった…」



写真は福島、双葉町で田植えをした時のもの。教えてもらって機械を動かしました。(2009・5・5)

私は、3年前(2009年)に家族と共に福島・双葉町に田植えに出かけました。子どもの友人の実家で「田植えをする手伝いの人足りない」というわけで生まれて初めて出かけたのです。実際はKさん、Sさんに田植え、農業の



ことなど教えられて大変勉強になりました。福島は警戒区域で、もう自宅にも帰れず一家は新潟に転居しているとのこと。田植えができないことを涙ながら語っているそうです。

を進めています。区議団は「原発依存から脱却し自然(再生可能)エネルギー中心の足立区へ」の提言をまとめ区長に提出しました。

パンフレット希

望の方は区議団に、みなさんのご意見、ご要望をお寄せください。

問い合わせ先。



足立区の学校統廃合計画の問題点

区教委は子どもの成長より財政が優先、住民無視で強行、違法性も

住民の声を無視！区教委



千寿第五小学校では、「開かれた学校づくり協議会」を中心にして、昨年

の11月統廃合中止を求める署名に取り組み、一カ月余りで1万1756筆を集め、

今年1月には、その署名を保護者・子ども30人余で区長へ届けています。

それに対し区教委は、保護者への説明会で、「実施計画(案)」「(案)をとる」と言い、住民合意なく、強行しようとしています。

旧文部省通知に違反!

これは明らかに、旧文部省通知32において、「学校規模を重視する余り無理な統廃合を行い、地域住民との間に紛争を生じたり…(中略)する」とは避けなければならない、「学校統廃合を計画する場合には、学校の持つ地域的意義等をも考えて、十分に地域住民の理解と協力を得て行うよう努めること」と指摘されています。

る文部省通知に違反していることは明らかではないでしょうか。

さらに、区教委はこれまで、開かれた学校づくり協議会で話し合い、これを「統廃合協議会」に発展させるやり方をとってきましたが、この協議会が不調におわり、この方針を投げ捨て、区教委が勝手に案のままを強行しようとしています。

統廃合をする理由総崩れ

千寿第五小学校の統廃合の理由は、「建築年が古く小規模が続いている」でした。しかし、2008年には耐震改修を行なっています。改築が必要なら、単独であればよいことです。また、「小規模が続いている」と言いますが、子どもは増え続けることもわ



京都市では、統廃合は地元学区からの要望書の提出を受けて進めることとしています。その際、教育委員会は、地元学区に情報を公開し、児童生徒数減少に伴う教育環境の変化の影響について地元で議論し、住民合意を大切にしています



かっています。千五小の統廃合の理由は全くありません。さらに区は、財政面での理由はいつさ

ますが、教育的根拠はいつさい示すことができません。子どもたちの成長よりも区財政を優先する考え方を区民に押し付けることは、教育に携わる者がやるべきことではないでしょうか。

こんなやり方で23年間に33校もの小中学校を統廃合することは地域コミュニティを破壊するだけでなく、地方自治の破壊にもつながるものではないでしょうか。

区民のみなさんの意見・ご要望をお寄せ下さい。区会議員 伊藤和彦

日米桜寄贈百年記念式典に参加



写真は4月22日、都市農業公園で行われた日米桜100年記念式典に区議会・建設委員会副委員長として参加しました。大島よしえ都議と一緒に記念樹を植える式典や地元小学生のプラスバンド演奏など行われました。アメリカからはワシントン市のボトマック河畔の桜植樹で当時の関係者のひ孫の方、江北の桜を守り・伝えた人たちのお孫さんたちなどが紹介され荒川の五色桜で心よい交歓をしました。(伊藤和彦)

憲法のつどい

第31回

5月18日(金)

午後6時開場・6時半開演
竹の塚地域学習センター4階ホール

講演 小森 陽一さん

東京大学大学院総合文化研究科教授

大人 1000円、中高生500円

愛がある!歌がある!そして平和憲法がある!

憲法を考えるつどい実行委員会